

黒森沢

1985年8月2日

5:50黒森沢にかかるかのはたはしから入谷。この沢もずっと平凡な河原が続く。どうやら七ヶ岳北面の沢は、長い河原が続いた後で、最後になって滝が出てくるかどうかという形になっているようだ。

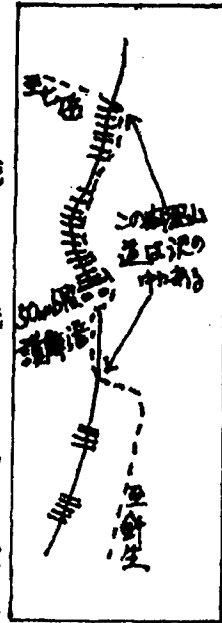
1時間程登った所で小さなナメが出てきた。こういう所は先に滝があることを期待させるが、さてどうなっているだろう。

もう一つ小さなナメを越えたあたりで、登山道が沢に入る。黒森沢登山道は、ここから最後のツメのあたのまでずっと沢の中をたどることになる。

7:30護摩滝到着。黒森沢にかかる唯一最大の滝である。6段になって落ちていて、トータルで50m程の落差がある。最上段はナメ状となっている。ホールド、スタンスは豊富で、すべて直登できたが、水の冷たさには参った。一般向きには、1段および4～6段目は右岸、2～3段目は左岸を登ればよい。ロープが張られている。

護摩滝を過ぎると、あとはナメが続くが、沢の傾斜はゆるやかとなり、もう難所はない。沢がブッシュでうまっている所で遡行終了とし、あとは登山道を使って七ヶ岳山頂に登る。七ヶ岳山頂には1等三角点があった。(記・


[タイム] かのはたはし(5:50)→護摩滝(7:30)→遡行終了(7:50)→七ヶ岳(8:00)



4. 焼石岳・尿前本沢

1985年7月13～14日

L

7月13日 曇のち断続的に大雨。強風あり。 福島(13:50)  尿前林道幕营地(18:00)

「岩魚を釣りたい」という氏家さんの熱意が突り、岩魚釣りにかけとは当会随一の柳谷さんをうまくまるめ込み、女性に人気のある(?)加藤さんを引きずり込んで、強引にパーティ成立。私も岩魚針やらテグスやら買い込んで、「岩魚の骨酒」なるものをきこしめしたいものだと毎日ウズウズしていた。